

運用上で配慮する重点ポイント

- 定常的な品質トラブルデータ収集体制と教育
- 品質トラブルデータ分析スキル向上教育
- 仕組みとしての品質トラブルデータの分析実施（振り返り分析、キックオフとの連動等）
- 水平展開を他テーマへ確実にを行う

